

文化財で楽しむ九州アジア倶楽部® 2019

【監修:西谷正氏 主催:かたらんね】

学ぶ -manabu-

楽しむ -tanoshimu-

2019年

	in 東京	in 九州 (福岡)
	西谷正氏 「北東アジアの古代に迫る」 —日本古代史との接点を求めて—	鉱物資源からみる交易と歴史 —九州の火山と鉄・銅・金・硫黄・朱・石など—
	13:30~16:00 代官山ヒルサイドテラス「サロンウエスト」	14:00~16:00 「松楠居(しょうなんきょ)」(大名)
4	6(土) 【渤海】渤海の遺跡	13(土)【大木公彦氏/鹿児島大学名誉教授】 九州の火山と歴史にみる地質資源
5		18(土)【高橋徹氏/元大分県立歴史博物館長】 半島に延びる丹生の道 —朱で塗りこめられた女性首長墓—
6	15(土) 【渤海】渤海と日本	1(土)【藤本貴仁氏/宇土市文化課】 馬門石と大王のひつぎ
7		6(土)【松井和幸氏/北九州市立埋蔵文化財センター】 阿蘇のリモナイトと弥生製鉄の可能性 —阿蘇盆地出土の多量の弥生鉄器は何を語るのか—
8	17(土) 【敦煌】要衝の地・敦煌	休み
9		7(土)【永山修一氏/ラ・サル学園】 硫黄とイオウガシマをめぐる歴史 —南島の交易ネットワークの変容—
10	5(土) 【シルクロード】草原の道	12(土)【松見裕二氏/香崎市文化財課】 —支国カラカミ遺跡にみる最先端の“モノづくり” —加工で高めた鉄製品の付加価値と交易ネットワーク—
11		* 11月以降は夏ごろに決定します
12	14(土) 【シルクロード】オアシスの道(1)	
2020年		
1		
2	8(土) 【シルクロード】オアシスの道(2)	
3		

西谷正氏とめぐるシリーズ	スペシャリストとめぐるシリーズ	
3/3(日)~9(土) 寧波・杭州・南京 —稲作の起源・シルクロード海の道の起点・南朝の都へ—		
4/22(月)~25(木) 日本海シリーズ【1】石見・出雲・隠岐の巻	<p>現地講座</p> <p>=====</p> <p>九州らしい仏像の世界 —現地で本物が語ってくれること—</p> <p>【井形進氏/九州歴史資料館】</p> <p>=====</p> <p>■現地集合・解散 10:00~12:30</p> <p>■日程は2ヶ月位前に決定</p> <p>(1) 7/3(水)または10(水)</p> <p>(2) 9/4(水)または11(水)</p> <p>(1) 太宰府—観世音寺を中心に— 観世音寺・政庁周辺・光明禅寺など</p> <p>(2) 箱崎—恵光院を中心に— 中国風の希少な仏が集中する世界</p>	
6/3(月)~5(水) 古代の群馬【続編】—赤城山麓を中心に—		
7/31(水)~8/7(水) 古代渤海国 —旧国と五京の主要地へ—		
8/27(火)~29(木) 日本海シリーズ【2】因幡・伯耆の巻		
10/7(月)~10(木) 江原道をめぐる —新石器時代遺跡と高句麗遺跡を中心に—		
11/5(火)~8(金) 古代の長野 —縄文文化の宝庫へ—		
12/19(木)~21(土) 装飾古墳シリーズ(5)拾遺編/九州シリーズ完結編 【石山勲氏/元九州歴史資料館】		
1/21(火)~23(木) 古代の鹿児島 —火山灰考古学・縄文文化と前方後円墳の南限—		

2020年【予定】

- ◎二里頭・鄭州・安陽
- ◎ベトナム(漢の南方政策)
- ◎敦煌
- ◎日本海シリーズ

* 概要は裏面をご覧ください

「学ぶ」「楽しむ」講師のご紹介 (50音順)



井形進 (いがたすすむ) 氏

1971年、福岡県北九州市生まれ。九州大学文学部(美学美術史専攻)卒業後、九州歴史資料館学芸員となる。専門は仏教美術史。九州の仏像を主たる研究対象としているが、2013年に国指定史跡となった首羅山遺跡の調査にも深くかわり、謎の石塔である薩摩塔の研究においても新境地を拓いている。



石山勲 (いしやまいさお) 氏

1945年、新潟県生まれ。早稲田大学大学院(芸術学)修了。九州歴史資料館にて2005年まで調査・研究に従事。その後も複数の館で子供たちとの活動に注力。九州全域の装飾古墳の現場を知り尽くし、装飾古墳の独特の魅力と、そこから垣間見える「ヒト」の面白さを伝える活動を行っている。



大木公彦 (おおききみひこ) 氏

1947年福岡県生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。専門は地質学(理学博士/東北大学)。鹿児島大学理学部で教育研究に携わる。同大学総合研究博物館長を経て現在、鹿児島大学名誉教授、鹿児島県文化財保護審議委員会副会長ほか役職多数。最近では石塔(薩摩塔など)や礎石、古墳の石棺などの石材も調査研究中。



高橋徹 (たかはしとさる) 氏

1950年、大分県大分市生まれ。九州大学大学院修了。大分県教育委員会で文化財調査保存に携わる。大分県立歴史博物館館長を経て、現在、NPO法人文化財調査保存協会副理事長。古鏡、埴輪ほかの個別研究を含め、考古学全般に関わる。長年エジプトアクリス遺跡調査に参加中。



永山修一 (ながやましゅういち) 氏

ラ・サール学園教諭。鹿児島大学・鹿児島県立短期大学非常勤講師。1957年宮崎市生まれ。東京大学文学部国史学科卒業。博士(文学 九州大学)。古代の南九州、古代～中世併行期の南島の歴史を、文献を中心に考古学の成果も取り込みながら研究している。また、近世の薩摩藩の学問についても興味を持つ。



西谷正 (にしにただし) 氏

1938年、大阪府生まれ。京都大学大学院修了。専門は東アジア考古学。奈良国立文化財研究所、福岡県教育庁、九州大学教授、韓国伝統文化大学外国人教授などを経て、現在、海の道むなかた館長、九州歴史資料館名誉館長、伊都国歴史博物館名誉館長、九州大学名誉教授。元日本考古学協会会長。文化庁や世界遺産関係の役職多数。



藤本貴仁 (ふじもとたかひと) 氏

1975年、熊本県八代市生まれ。宮崎大学教育学部(人文社会課程考古学専攻)卒業後、宇土市教育委員会にて文化財調査・保護業務に従事。古墳時代に畿内等の有力豪族の石棺が製作された馬門石石切場跡の発掘調査を担当し、古墳時代の石切場跡を特定。2005年の「大王のひつぎ実験航海」事業にも携わった。現在、古墳時代の土器製造も研究中。



松井和幸 (まついかずゆき) 氏

1955年、富山県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士前期(考古学専攻)修了。博士(文学)。(財)広島県埋蔵文化財センター、北九州市立いのちのたび博物館歴史課長を経て、2019年より北九州市立埋蔵文化財センター次長。東アジアの前近代鉄文化を中心に研究し、近年は阿蘇リモナイトから弥生時代製鉄の可能性を模索している。



松見裕二 (まつみゆうじ) 氏

1976年、佐賀県鳥栖市生まれ。別府大学文学部史学科(考古学専攻)卒業後、福岡県小郡市にて嘱託を経て、壱岐市教育委員会にて埋蔵文化財調査・保護業務に従事。島内にある「一支国」を構成する弥生遺跡である国特別史跡原の辻遺跡や市史跡カラミ遺跡の調査を担当し、弥生集落遺跡の実態解明について調査・研究・情報発信を行っている。

「学ぶ」へのお誘い

福岡

松楠居 (しょうなんきょ)

福岡市中央区大名2-1-16
地下鉄「天神駅」徒歩5分

料金 15,000円 (4~10月の6回)

定員 35名

※ご夫婦、ご家族でご参加の場合は

お2人様 28,000円

※残席がある場合は1回3,000円



今年は遠方の先生方をお招きします。福岡ではなかなか拝聴できない貴重なお話ばかり! 火山や地質の話が、いつも学ぶ歴史と深く関わっていることに、興奮を覚える面白さ。鉄・石・硫黄・朱など、歴史に登場する重要なトピックとして鉱物資源を切り口にした連続講座。乞うご期待!

お申し込み

【HP】<http://kataranne.com>より

【FAX】次の内容を明記の上、092-823-1708宛て

東京

代官山ヒルサイドテラス「サロンウエスト」

東京都渋谷区鉢山町13-13
<http://hillside terrace.com>
東急東横線「代官山駅」徒歩10分

料金 20,000円 (年間チケット)

定員 70名

※ご夫婦、ご家族でご参加の場合は

お2人様 36,000円

※残席がある場合は1回4,000円



今年は「シルクロード」「敦煌」「渤海」という人気のテーマ。東アジア考古学の専門家であり日本考古学界を代表する西谷先生の連続講座を東京で拝聴できる、希少な機会です。講師が50年来撮りためた今や貴重な現場写真や当時の風景も楽しみです。贅沢な時間をお過ごし下さい。

「学ぶ福岡」または「学ぶ東京」、〒・住所・お名前・ふりがな、昼間に連絡可能な電話番号(できれば携帯)、FAX番号。先着順に受け付け、定員に達したら締め切ります。

「楽しむ」へのお誘い

日本海シリーズ

2014年から5年かけて日本海を北上したこのシリーズ、日本海側の深さと凄みに圧倒され続けました。リクエストも多く頂き、今年から再度スタートします。

- ①石見・出雲・隠岐 ②伯耆・因幡 ③丹後 ④若狭・越前
⑤加賀・能登 ⑥越中・越後・佐渡 ⑦出羽 ⑧陸奥 ⑨北海道

装飾古墳シリーズ

装飾古墳王国・九州を、現場を知り尽くした専門家とライト片手に巡ります。彩色も線刻も。大陸文化や黄泉の世界や船やクジラも。虜になります。

2020年の企画(予定)

- 二里頭・鄭州・安陽/中国の古代国家、夏・殷・商に絞った企画。2019年に新設開館の国立二里頭博物館や殷墟を中心に。甲骨文字は圧感。
- ベトナム/古代ドンソン文化・サーフィン文化や、南越9郡を置いた漢の南方政策を。日本で見ると前漢鏡がここにも!
- 敦煌/講座で学んだ現地へ。城壁や狼煙台や墳墓、敦煌莫高窟へ!
- 日本海シリーズ/2019年に続き第3弾の丹後から。日本海は面白い!

お問合せ

HPまたはFAXにて、ご質問やご興味をお寄せください。各回の詳細はHPやFBでお知らせしていきます。

文化財で楽しむ九州アジア倶楽部® 2018 【監修:西谷正氏 主催:かたらんね】

学ぶ -manabu-

楽しむ -tanoshimu-

2018年

in 東京		in 九州 (福岡)		in 九州 (鹿児島)	
西谷正氏 「日本古代史の謎」 —最新事情を交えて—		玄界灘ルートを中心に		南方ルートを中心に	
(全12回/2年間の後半) 第2(土) 13:40~16:10		(テーマ毎2回連続講座) 原則第1(土) 14:00~16:00		(テーマ毎2回連続講座) 原則第1(日) 14:00~16:00	
4	14(土)【7】 装飾古墳と高句麗の壁画古墳	最古級の縄文文化「東名遺跡」 1) 東名遺跡の凄さ(西田巖氏) 2) 南九州の火山灰台地に広がる縄文文化 (本田道輝氏) 4/8★日曜、4/28★第4土曜	南九州からみえる「日本」 (北郷泰道氏) 4/1、5/13★第2日曜	西谷正氏と めぐるシリーズ	
5				3/4(日)~10(土) 魏志倭人伝特別編 「西安」始皇帝陵と兵馬俑	
6	16(土)【8】 元岡G号墳出土の庚寅年銘金象嵌大刀	—10周年記念特別編— 玄界灘を越えて 世界遺産「沖ノ島」・「百済」 (西谷正氏、ユンヨンヒョク氏) 5/30(水)★会場10階大会議室	世界遺産 「神宿る島」宗像・沖ノ島と 関連遺産群 (西谷正氏) 6/9(土)★会場 黎明館	スペシャリストとめぐる テーマ別シリーズ	
7				4/16(月)~19(木) 古代の安芸・備後をめぐる	
8	4(第1土)【9】 大宰府の成立過程	北の筑紫君磐井・南の諸県君牛諸井 —宮崎や大隅の巨大古墳を中心に— (北郷泰道氏) 7/7、9/1	薩摩の縄文文化 (本田道輝氏) 7/8、9/9	【日帰り企画】 —遠賀川流域の前古代史— 「物部氏の影を探して」 (高島忠平氏) ヤマトへ、 そして磐井の鎮圧へ繋がるのか！？ *全3回(5月、6月、7月) *天神発着、原則9~18時	
9				8/20(月)~22(水) 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	
10	13(土)【10】 古代山城の諸問題	九州古代史の曲がり角 1) 継体天皇の時代(水谷千秋氏) 2) 筑紫君磐井(大塚恵治氏) 10/6、11/3	廃仏毀釈を生き抜いて —鹿児島に残る仏像— (切原勇人氏、栗林文夫氏) 10/7、11/4	9/2(日)~5(水) 日本海シリーズ【完】「北海道」	
11				10/16(火)~18(木) 宇佐神宮と国東・六郷満山(高橋徹氏)	
12	8(土)【11】 泰山における封禪	衝撃の響灘(松井和幸氏) 1) 縄文時代にもあった温暖化 2) 企救の国の青銅器文化 12/1、1/12★第2土曜	薩摩塔が語るダイナミズム (井形進氏) 12/2、1/13★第2日曜	11/25(日)~28(水) 魏志倭人伝【完】「関東~福島」	
2019 1				11/中旬 大隅の巨大古墳と神話をめぐる (北郷泰道氏)	
2	9(土)【12】 日本出土のイスラム陶器	信仰・芸術・権力のつぼ国東 1) 至高の芸術(井形進氏) 2) 宇佐神宮とは何か(高橋徹氏) 2/16、3/2	吉野ヶ里遺跡からみる 南の貝の道 (高島忠平氏) 2/3	12/上旬 九州の装飾古墳(石山勲氏)	
3				1/21(月)~23(水) 魏志倭人伝(番外編)「播磨・淡路・阿波」	
				<2019(平成31)年4月以降> 2019年 讃岐・伊予 2019年 「渤海」 2020年 「古代国家/夏・殷・商」 (二里頭博物館 2019開館予定)	
				3/3(日)~9(土) 中国ツアー「テーマ検討中」	

「学ぶ」「楽しむ」講師のご紹介 (50音順)



井形進氏 (いがたすすむ)

1971年、福岡県北九州市生まれ。九州大学文学部(美学美術史専攻)卒業後、九州歴史資料館学芸員となる。専門は仏教美術史。九州の仏像を主たる研究対象としているが、2013年に国指定史跡となった首羅山遺跡の調査にも深くかわり、謎の石塔である薩摩塔の研究においても新境地を拓いている。



西谷正氏 (にしにただし)

1938年、大阪府生まれ。京都大学大学院修了。専門は東アジア考古学。奈良国立文化財研究所、福岡県教育庁、九州大学教授、韓国伝統文化大学外国人教授などを経て、現在、海の道むなかた館長、九州歴史資料館名誉館長、伊都国歴史博物館名誉館長、九州大学名誉教授、元日本考古学協会会長、文化庁や世界遺産関係の役職多数。



石山勲氏 (いしやまいさお)

1945年、新潟県生まれ。早稲田大学大学院(芸術学)修了。九州歴史資料館にて2005年まで調査・研究に従事。その後も複数の館で子供たちとの活動に注力。九州全域の装飾古墳の現場を知り尽くし、装飾古墳の独特の魅力と、そこから垣間見える「ヒト」の面白さを伝える活動を行っている。



西田巖氏 (にしだいわお)

1966年、福岡県大牟田市生まれ。山口大学人文学部(考古学専攻)卒業後、佐賀市教育委員会にて文化財調査・保護業務に従事。佐賀市内の主要な遺跡調査を担当する一方で、東名遺跡の調査を25年間継続中。現在、佐賀市教育委員会文化振興課主査。東名遺跡の保存・活用・整備を中心に活動している。



大塚恵治氏 (おおつかけいじ)

1968年、広島県生まれ。福岡大学法学部卒業後、八女市教育委員会にて文化財調査・保護業務に従事。鶴見山古墳の武装石人を発掘した当人であり、岩戸山古墳、八女古墳群のスペシャリストである。国指定無形民俗文化財「八女福島の燈籠人形」で下遣い人形を操る人形遣いの顔もあわせ持つ。現在、八女市商工観光課。



本田道輝氏 (ほんだみちてる)

1949年、熊本市生まれ。鹿児島大学法文学部(日本史専攻)卒業後、私立高校教員を経て、2015年まで鹿児島大学法文学部教授(考古学関係の授業を担当)。現在、鹿児島県考古学会会長。九州南部の縄文時代や弥生時代の人々の生活、他地域との交流に関心を持つ。



切原勇人氏 (きりはら はやと)

1964年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学教育学部(中学校美術)卒業。中学校、高等学校の美術教諭を経て、2011年より鹿児島県歴史資料センター黎明館学芸専門員(美術・工芸担当)。2017年、「かごしまの仏たち〜守り伝える祈りの造形〜」展を黎明館にて開催。塑像制作する彫刻家でもある。



北郷泰道氏 (ほんごう ひろみち)

1953年、宮崎県都城市生まれ。立正大学文学部史学科(考古学専攻)卒業。宮崎県教育庁文化課、宮崎県立西都原考古博物館を経て、宮崎県埋蔵文化財センター所長を退職。南九州大学非常勤講師。2018年まで宮崎県教育庁文化財課専門主幹。南九州の古墳文化を「世界文化遺産」として評価する調査・研究、情報発信を行っている。



栗林文夫氏 (くりばやし ふみお)

1964年、福岡市生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程前期修了。現在、鹿児島県歴史資料センター黎明館調査史料室長、鹿児島国際大学非常勤講師。専門は日本中世史。鹿児島島の廃仏毀釈について文献から詳しく解説する。



松井和幸氏 (まつい かずゆき)

1955年、富山県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士前期(考古学専攻)修了。博士(文学)。(財)広島県埋蔵文化財センターを経て、現在、北九州市立いのちのたび博物館歴史課長。東アジアの前近代鉄文化を中心に研究し、近年は阿蘇リモナイトから弥生時代製鉄の可能性を模索している。



高島忠平氏 (たかしまちゅうへい)

1939年、福岡県飯塚市生まれ。熊本大学法文学部(東洋史専攻)卒業後、奈良国立文化財研究所を経て、佐賀県教育委員会へ。2017年まで旭学園理事長。吉野ヶ里遺跡の発掘、保存整備の陣頭指揮を執り、今も「ミスター吉野ヶ里」と呼ばれる。邪馬台国九州説派。近年は遠賀川流域の古代史を見直そうと活動中。



水谷千秋氏 (みずたに ちあき)

1962年、滋賀県大津市生まれ。龍谷大学大学院博士後期課程満期退学。博士(文学)。龍谷大学非常勤講師を経て、現在、堺女子短期大学教授。専攻は日本古代史。継体天皇をめぐる各地の遺跡や出土品を、朝鮮半島や九州に至る広域で俯瞰し、わかりやすく解説する講演や著書多数。



高橋徹氏 (たかはし とおる)

1950年、大分県大分市生まれ。九州大学大学院修了。大分県教育委員会にて文化財調査保存に携わる。大分県立歴史博物館館長を経て、現在、NPO法人文化財調査保存協会副理事長。古鏡、埴輪ほかの個別研究を含め、考古学全般に関わる。長年エジプトアコリス遺跡調査に参加中。



伊龍焮氏 (ユンヨンヒョク)

1952年生まれ。公州師範大学、高麗大学校大学院卒業。文学博士。韓国中世史および忠清南道地域史専攻。2017年まで公州大学教授。その間、公州大学院長、文化遺産大学院長、公州大学博物館長、および韓国中世史学会会長、湖西学会会長、国史編纂委員を歴任。筑波大学、九州大学、琉球大学でも研究。現在、忠清南道文化財委員、百濟文化祭推進委員会理事など。

「学ぶ」へのお誘い

最前線で活躍する講師陣による最新情報と新たな視点。想いのこもった講師のお話に人生観を感じ、参加者同士の情報交換を楽しむ場は、想像の羽を広げ日常を豊かにしてくれます。一流の講師陣を囲む幸せな時間へ。ご参加お待ちしております。

福岡 JR博多シティ9F 会議室3

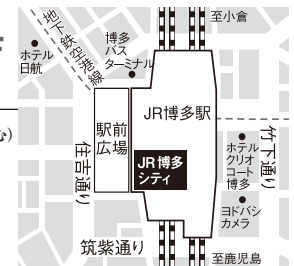
料金 18,000円(年間チケット/特別編含む)

定員 70名

※ご夫婦、ご家族でご参加の場合は

お2人様 32,000円

※残席がある場合は1回2,000円



鹿児島 JR九州ホテル鹿児島 会議室

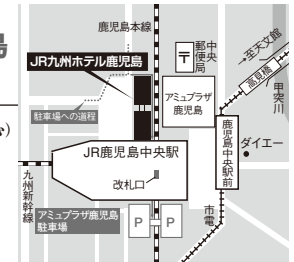
料金 15,000円(年間チケット/特別編含む)

定員 40名

※ご夫婦、ご家族でご参加の場合は

お2人様 28,000円

※残席がある場合は1回2,000円



東京 日経カンファレンスルーム (日経新聞本社ビル)

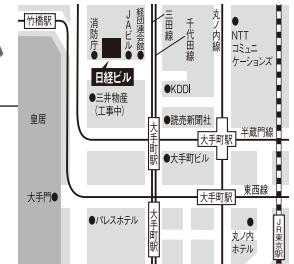
料金 17,000円(年間チケット)

定員 90名

※ご夫婦、ご家族でご参加の場合は

お2人様 30,000円

※残席がある場合は1回3,500円



お申し込み方法

【ホームページ】 <http://kataranne.com> より

【FAX・ハガキ】「開催地」を明記の上、お名前・ふりがな・郵便番号・住所・昼間連絡可能な電話番号・FAX番号を、下記主催者あてにお送りください。お電話ではお受けしていません。ご了承ください。

※お申し込み先着順。定員に達したら締め切ります。

※受付後、お支払い情報などをご連絡します。

※各回ごとのお申込みは4/1以降、残席がある場合にお受けします。ホームページでご確認ください。

後援

福岡県教育委員会、鹿児島県教育委員会、NPO法人 国境地域研究センター

主催

有限会社かたらんね
〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1-3-70 レジデンスリアル福岡 4408
TEL.092-823-1689 FAX.092-823-1708 <http://kataranne.com>

学ぶ -manabu-

楽しむ -tanoshimu-

2017年

	in 東京	in 九州
	西谷正氏 「日本古代史の謎」 —最新事情を交えて—	九州学 「海と向き合って」 シリーズ
	(全12回/2年間の前半) 第2(土) 14:00~16:30	(テーマ毎2回連続講座) 原則第1(土) 14:00~16:00
4	8(土) ① 首長墓の出現と王墓の形成過程	—ヤマトとつなぐ海人— 隼人・熊襲から見える事 (北郷泰道氏) 4/1、4/23(日曜)
5		
6	10(土) ② 奴国の王墓と「漢委奴国王」金印	—海に眠る文化遺産— 鷹島の海底遺跡と世界の海 (佐々木蘭貞氏) 6/3、7/1
7		
8	5(土) ③*第1土 墳丘墓と前方後円墳	—南の海が繋ぐ先— 薩摩の島々・琉球の島々 (永山修一氏) 9/2、9/24(日曜)
9		
10	14(土) ④ 巨大古墳と技術革新の世紀	—城が海を越えた— 倭城の特異性と倭城その後 (木島孝之氏) 10/7、11/4
11		
12	2(土) ⑤*第1土 「神宿る島」宗像・沖ノ島と 神社、古墳	—玄界灘が開いた新時代— 青銅器から見る文化の往来 (常松幹雄氏) 12/3(日曜)、1/6
2018		
1		
2	10(土) ⑥ 筑紫君磐井の乱の背景	—中国商人が連れてきた事— 九州に息づく大陸仏と石塔 (井形進氏) 2/17(第3土)、3/3
3		

西谷正氏と めぐるシリーズ	日帰りシリーズ	スペシャリストとめぐる テーマ別シリーズ
3/1(水)~7(火) 魏志倭人伝 特別編 「洛陽・鄭州・安陽」		
4/11(火)~14(金) 玄界灘の島めぐり	■高島忠平氏とめぐるシリーズ 「風土記の考古学」 4/26(水) 豊前国風土記(田川) 5/25(木) 肥後国風土記(宇土・八代) 6/22(木) 肥前国風土記(東松浦) *天神発着、発着時間は企画による	5/13(土)~14(日) 磐井と継体天皇(大塚恵治氏) ~①石人石馬の謎~
5/17(水)~19(金) 魏志倭人伝⑤「投馬国を探しに吉備へ」	■折尾學氏とめぐるシリーズ 「川から探る古代史」 9/28(木) 山国川を探る 11/2(木) 遠賀川を探る 11/23(木) 筑後川を探る *天神発着、原則9~18時	7/6(木)~7(金) 小値賀の海底遺跡と島の文化 (林田憲三氏)
6/13(火)~16(金) 韓国シリーズ 世界遺産「百済歴史地区」へ	■職食紀行(しょくしょくきこう)シリーズ 毎月1テーマ/ 15:30帰着 「職」 職人訪問と、 「食」 歴史を感じる地元ゆかりの昼食を *原則9:00~15:30 *8月、12月除く	11/12(日)~14(火) 古代日向 (北郷泰道氏) ~西都原と隼人・熊襲の世界~
9/12(火)~15(金) 日本海シリーズ⑥「山形・秋田・青森」	4月 酒蔵と漁師料理 5月 い草とうなぎのせいろ蒸し 6月 老舗茶舗と元醬油蔵の鴨料理 7月 特別編 重要無形文化財久留米緋工房へ ・9月以降の予定 塩づくり、ごみ人形、水車小屋、 小倉織、鍋島段通 など(予定)	11/20(月)~22(水) 九州の装飾古墳 (石山勲氏) ~③豊前・豊後から筑後川流域へ~
10/16(月)~19(木) 韓国シリーズ 「古代三国の国境地帯-高句麗・百済・新羅-」		1/下旬 台湾と台北故宮博物院 (下野寿子氏)
12/6(水)~8(金) 魏志倭人伝⑥「ヤマト」		
3/4(日)~10(土)いずれか6~7日間 魏志倭人伝特別編「西安」		

<2018(平成30)年4月以降>
5月か6月 魏志倭人伝 特別編「渤海」
9月 魏志倭人伝⑦(完結)「関東」
11月 日本海シリーズ⑦(完結)
「青森・福島・宮城」

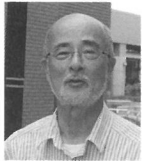
「学ぶ」「楽しむ」 講師のご紹介

(50音順)



井形進 (いがたすすむ) 氏

1971年、福岡県北九州市生まれ。九州大学文学部(美学美術史専攻)卒業後、九州歴史資料館学芸員となる。専門は仏教美術史。九州の仏像を主たる研究対象としているが、2013年に国指定史跡となった首羅山遺跡の調査にも深くかわり、謎の石塔である薩摩塔の研究においても新境地を拓いている。



石山勲 (いしやまいさお) 氏

1945年、新潟県生まれ。早稲田大学大学院(芸術学)修了。九州歴史資料館にて2005年まで調査・研究に従事。特に、装飾古墳の調査研究では幅広く活躍。装飾古墳の独特の魅力と、そこから垣間見える「ヒト」の面白さを伝える活動を行っている。現在、海の道むなかた館に勤務。特に子供たちの体験事業に心を砕く。



大塚恵治 (おおつかけいじ) 氏

1968年、広島県生まれ。福岡大学法学部卒業後、八女市教育委員会にて文化財調査・保護業務に従事。鶴見山古墳の武装土人を発掘した当人であり、岩戸山古墳、八女古墳群のスペシャリストである。国指定無形民俗文化財「八女福岡の燈籠人形」で下遣い人形を操る人形遣いの顔もあわせ持つ。現在、八女市商工観光課。



折尾學 (おりおまなぶ) 氏

1944年、福岡県飯塚市生まれ。明治大学文学部(考古学専攻)卒業後、福岡市教育委員会にて遺跡の発掘・保存・整備・普及活動に従事。福岡市埋蔵文化財センター所長、鴻臚館、吉野ヶ里の勤務を経て、現在、福岡NHK文化センター講師。邪馬台国九州説支持派。



木島孝之 (きじまたかし) 氏

九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門 助教。九州大学大学院博士課程(工学)修了。専門は日本建築史、日本城郭史。数多くの城郭を歩き、縄張り構造から時代や背景を読み解く現場情報豊富な講話に、一般ファンも多い。織豊系城郭の中で出現した「倭城」を取り上げ、日本と韓国の城を見ていく。



佐々木蘭貞 (ささきらんてい) 氏

1976年神奈川県生まれ。高校卒業後アメリカの大学で考古学を学ぶ。テキサスA&M大学大学院で水中・海事考古学を専門とする。帰国後、2013年より福岡市の埋蔵文化財調査課で嘱託職員として従事。2015年より水中考古学専門研究員として九州国立博物館に勤務。



下野寿子 (しもひさこ) 氏

山口県生まれ。北九州市立大学外国語学部教授。博士(国際関係学立命館大学)。カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院、中国人民大学经济学院、復旦大学日本研究中心で留学・在外研究。専門は現代中国政治で、対外開放の政治経済学、兩岸関係等がテーマ。台湾との関係を中心に福建省研究に取り組み、今年は台湾に居住し在外研究となる。



高島忠平 (たかしまちゅうへい) 氏

1939年、福岡県飯塚市生まれ。熊本大学法文学部(東洋史専攻)卒業後、奈良国立文化財研究所を経て佐賀県教育委員会へ。その後、佐賀女子短大などを運営する旭学園理事長。吉野ヶ里遺跡の発掘、保存整備の陣頭指揮を採り、今も「ミスター吉野ヶ里」と呼ばれる。邪馬台国九州説派。



常松幹雄 (つねまつみきお) 氏

1957年、福岡市生まれ。早稲田大学教育学部地理歴史専修卒業。文化財専門職として福岡市内の発掘調査に携わる。福岡市博物館学芸員などを経て、現在、福岡市埋蔵文化財課長。九州産業大学国際文化学部非常勤講師(兼任)。倭人社会をモノの形や図像から読み解くことに関心がある。



永山修一 (ながやましゅういち) 氏

ラ・サール学園教諭。鹿児島大学・鹿児島県立短期大学非常勤講師。1957年宮崎市生まれ。東京大学文学部国史学科卒業。博士(文学 九州大学)。古代の南九州、古代～中世併行期の南島の歴史を、文献を中心に考古学の成果も取り込みながら研究している。



西谷正 (にしにただし) 氏

1938年、大阪府生まれ。京都大学大学院修了。専門は東アジア考古学。奈良国立文化財研究所、福岡県教育庁、九州大学教授、韓国伝統文化大学外国人教授などを経て、現在、海の道むなかた館長・九州歴史資料館名誉館長・伊都国歴史博物館名誉館長・九州大学名誉教授。元日本考古学協会会長。文化庁や世界遺産関係の役職多数。



林田憲三 (はやしだけんぞう) 氏

1946年富山市生まれ。ペンシルバニア大学大学院(古典考古学)修了。福岡市教育委員会調査員、1989年以降鹿島海底遺跡、支那瀝の中世交易船や小値賀島海底遺跡調査、全国の「海の文化遺産総合調査」を行う。現在、アジア水中考古学研究所の理事長や文化庁水中遺跡調査検討委員会委員として、水中遺跡の調査・保存・活用に取り組む。



北郷泰道 (ほんごうひろみち) 氏

1953年、宮崎県都城市生まれ。立正大学文学部史学科(考古学専攻)卒業。宮崎県教育庁文化課、宮崎県立西都原考古博物館を経て、宮崎県埋蔵文化財センター所長を退職。現在、宮崎県教育庁文化財課専門主幹・南九州大学非常勤講師。南九州の古墳文化を「世界文化遺産」として評価する調査・研究、情報発信を行っている。

「学ぶ」へのお誘い

最前線で活躍する講師陣の豊富な写真、貴重な資料、新たな視点。想いのこもった講師のお話に人間性を感じ、参加者同士の情報交換を楽しむ場は、想像の羽を広げ日常を豊かにしてくれます。一流の講師陣を囲む幸せな時間へ。ご参加お待ちしております。

九州

JR博多シティ9F 会議室3



料金 18,000円(年間チケット/全12回)

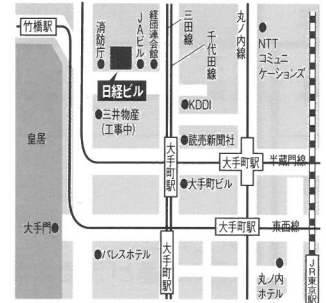
定員 75名

※ご夫婦、ご家族でご参加の場合は
お2人様32,000円

※残席がある場合は1回2,000円

東京

日経カンファレンスルーム(日経新聞本社ビル)



料金 17,000円(年間チケット/全6回)

定員 90名

※ご夫婦、ご家族でご参加の場合は
お2人様30,000円

※残席がある場合は1回3,500円

お申込み方法

【ホームページ】 <http://kataranne.com> より

【FAX・ハガキ】「開催地」を明記の上、お名前・ふりがな・郵便番号・住所・昼間に連絡可能な電話番号・FAX番号を、下記主催者までにお送り下さい。お電話ではお受けできません。ご了承下さい。

- *先着順でお受けし、定員に達したら締め切ります。
- *受付後、お支払い情報などをご連絡します。
- *各回ごとのお申込みは4/1以降、残席がある場合にお受けします。残席状況はかたらんねホームページでご確認下さい。

*現地講座「楽しむ」

現地へ出かける講座、「楽しむ」も豊富に用意しました。すべて同行講師や現地専門家に全行程の解説を頂く濃厚な時間。ほとんどが一人参加、同好の士の集まりは楽しく幸福なひと時です。

*会員制度「かたらんね倶楽部」

2017年からは会員制もご用意します。限定企画や特典のほか、定期的な通信もお届けします。

文化財で楽しむ九州アジア倶楽部® 2016

【監修:西谷正氏 主催:かたらんね】

学ぶ -manabu-

楽しむ -tanoshimu-

2016年

4
5
6
7
8
9
10
11
12
2017年
1
2
3

in 東京		in 大阪	in 九州
魏志倭人伝 -邪馬台国への道-	神話・仏像	福岡に 邪馬台国を探る	九州学シリーズ
(西谷正氏) 第2土曜 14:00~16:30		(西谷正氏) 14:00~16:30	(テーマ毎2回連続講座) 原則土曜 14:00~16:00
9(土) ⑦ 伊都国			畿内・半島における 日向の役割 (北郷泰道氏) 4/2, 5/7
		21(土) ① 奴国	
11(土) ⑧ 奴国			隼人と南島の時代 (永山修一氏) 6/12(★日)、7/2
	16(土) 日向神話 (北郷泰道氏)	24(日) ② 伊都国	
6(土) ⑨ 不弥国		(番外編) 28(日)筑紫君磐井 (大塚恵治氏)	長登銅山から見える 古代史 (池田善文氏) 7/30, 8/27
	3(土) 九州の古仏古刹 (井形進氏)	25(日) ③ 九州説を探る	
8(土) ⑩ 投馬国			北部九州の古代豪族と 那津官家 (酒井芳司氏)
10(土) ⑪ 邪馬台国 —九州説—			筑紫君磐井 (大塚恵治氏) 12/3, 1/7
11(土祝) ⑫ 邪馬台国 —近畿説—			九州の古仏古刹 ③ (井形進氏) 2/18, 3/11

西谷正氏と めぐるシリーズ	高島忠平氏と めぐるシリーズ	折尾學氏と めぐるシリーズ	スペシャリストとめぐる テーマ別シリーズ		
1/26(火)~28(木) 長門・周防の古代史 3/15(火)~19(土) 魏志倭人伝② 「帯方郡~狗邪韓国」					
		日帰り企画 福岡市天神発着、専用車 原則9~18時(企画による) <奇数月、原則第4金曜> 【高島先生と歩く】 筑紫神話と古代史の旅 1. 志賀島・糟屋 (5/27) 2. 壱岐 (7/28~29) ★この回のみ1泊2日 3. 伊都 (9/23) 4. 宗像・芦屋 (11/25) 5. 豊前 (1/27) 6. 筑紫平野 (3/24) <偶数月、原則第3木曜> 【折尾學先生と歩く】 地域の文化をめぐる旅 (第1弾) 玄界灘を東へ西へ 1. 福岡市 (4/21) 2. 北九州市 (6/16) (第2弾) 狗奴国はどこだ? 3. 菊地川流域 (8/18) 4. 球磨川流域 (10/20) (第3弾) 支石墓から見えること 5. 島原 (12/22)★第4木 6. 佐世保 (2/16) * 各回詳細はHPをご覧ください			
5/10(火)~13(金) 日本海シリーズ⑤「古代の越中・越後・佐渡」					
7/5(火)~8(金) 魏志倭人伝③「狗邪韓国から対馬へ」					
9/6(火)~8(木) 魏志倭人伝④「一支・末盧国・伊都国・奴国」					
9/26(月)~10/2(日) 魏志倭人伝 特別編「山東省」					10/28(金)~29(土) 筑紫君をめぐる (大塚恵治氏)
11/8(火)~11(金) 日本海シリーズ番外編「謎の継体天皇を訪ねて」					11/17(木)~18(金) 古代文化の十字路 —豊前・宇佐—(小倉正五氏)
12/14(水)~16(金) 福岡に邪馬台国を探る					12/6(水)~8(金) 装飾古墳 (石山勲氏) —②筑後川から宇佐周辺へ—
3/1(水)~7(火) 魏志倭人伝 特別編「洛陽と鄭州」					

2017年4月以降 日本海シリーズ⑥「古代の青森・秋田」

時空を超えた感動へ

新たな視点、豊富な写真、貴重な資料。想いのこもった講師のお話と参加者同士の情報交換は、好奇心を刺激し毎日を豊かにしてくれます。一流の講師陣を囲む幸せな時間へ。ご参加お待ちしております。

講師のご紹介 (50音順)



井形進 (いがたすすむ) 氏

1971年、福岡県北九州市に生まれる。九州大学文学部(美学美術史専攻)卒業後、九州歴史資料館学芸員となる。専門は仏教美術史。九州の仏像を主たる研究対象としているが、2013年に国指定史跡となった首羅山遺跡の調査にも深くかわり、謎の石塔である薩摩塔の研究においても新境地を拓いている。



池田善文 (いけだよしふみ) 氏

1948年、山口県生まれ。立正大学史学科(考古学)卒。福岡県教育庁文化課嘱託の後、1972年より山口県美東町教育委員会。社会教育課長・美祢市文化財保護課長を経て退職。長登銅山跡の調査・活用や古代銅製鍔元実験に取り組む古代銅山のスペシャリスト。現在長登銅山文化交流館長。日本鋳業史研究会理事。



石山勲 (いしやまいさお) 氏

1945年、新潟県生まれ。早稲田大学大学院(芸術学)修了。九州歴史資料館にて2005年まで調査・研究に従事。特に、装飾古墳の調査研究では幅広く活躍。装飾古墳の独特の魅力と、そこから垣間見える「ヒト」の面白さを伝える活動を行っている。現在、海の道むなかた館に勤務。特に子供たちの体験事業に心を砕く。



大塚恵治 (おおつかけいじ) 氏

1968年、広島県生まれ。福岡大学法学部卒業後、八女市教育委員会にて文化財調査・保護業務に従事。鶴見山古墳の武装石人を発掘した当人であり、岩戸山古墳、八女古墳群のスペシャリストである。国指定無形民俗文化財「八女福岡島の燈籠人形」で下遣い人形を操る人形遣いの顔もあわせ持つ。



小倉正五 (おぐらしょうご) 氏

1949年、大分県中津市生まれ。別府大学文学部(史学科考古学専攻)卒業。宇佐市教育委員会文化課長等。退職後、現在、宇佐市観光協会副会長、別府大学文学部非常勤講師ほか、福岡県吉富町にて発掘調査も担当。豊前の隅々まで深い解説により魅力を伝えている。



折尾學 (おりおまなぶ) 氏

1944年、福岡県飯塚市生まれ。明治大学文学部(考古学専攻)卒業後、福岡市教育委員会にて遺跡の発掘・保存・整備・普及活用に従事。福岡市埋蔵文化財センター所長、鴻臚館、吉野ヶ里の勤務を経て、現在、福岡NHK文化センター講師。邪馬台国九州説支持派。



酒井芳司 (さかいよしじ) 氏

1972年、千葉県生まれ。明治大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程中退。明治大学文学部助手、九州国立博物館主任研究員を経て、2014年より九州歴史資料館学芸員。専門は歴史学(日本古代史)。『日本書紀』等の文献史料や木簡を初めとする文字資料研究から古代大宰府と西海道の地域史の解明に取り組む。



高島忠平 (たかしまちゅうへい) 氏

1939年、福岡県飯塚市生まれ。熊本大学法文学部(東洋史専攻)卒業後、奈良国立文化財研究所を経て佐賀県教育委員会へ。吉野ヶ里遺跡の発掘、保存整備の陣頭指揮を採り、今も「ミスター吉野ヶ里」と呼ばれる。邪馬台国九州説派。現在、佐賀女子短大などを運営する旭学園理事長。



永山修一 (ながやましゅういち) 氏

ラ・サール学園教諭。鹿児島大学・鹿児島県立短期大学非常勤講師。1957年、宮崎市生まれ。東京大学文学部国史学科卒業。博士(文学 九州大学)。古代の南九州、古代～中世併行期の南島の歴史を、文献を中心に考古学の成果も取り込みながら研究している。



西谷正 (にしにただし) 氏

1938年、大阪府生まれ。京都大学大学院修了。専門は東アジア考古学。奈良国立文化財研究所、福岡県教委、九州大学教授、韓国伝統文化大学外国人教授などを経て、現在、海の道むなかた館長・九州歴史資料館名誉館長・伊都国歴史博物館名誉館長・九州大学名誉教授。元日本考古学協会会長。文化庁や世界遺産関係の役職多数。



北郷泰道 (ほんごうひろみち) 氏

1953年、宮崎県都城市生まれ。立正大学文学部史学科(考古学専攻)卒業。宮崎県教育庁文化課、宮崎県立西都原考古博物館を経て、宮崎県埋蔵文化財センター所長を退職。現在、宮崎県教育庁文化財課専門主幹・南九州大学非常勤講師。南九州の古墳文化を「世界文化遺産」として評価する調査・研究、情報発信を行っている。

in 九州

「九州学」シリーズ

定員	75名
会場	JR博多シティ会議室3 JR博多駅ビル・アミュプラザ9階
料金	15,000円(年間チケット/全12回) ご夫婦、ご家族の場合、お2人様28,000円 残席がある場合は1回2,000円

in 東京

「魏志倭人伝-邪馬台国への道-」シリーズ

定員	90名
会場	日経カンファレンスルーム(日経新聞本社ビル) 東京都千代田区大手町1-3-7日経ビル6階
料金	15,000円(年間チケット/全6回) ご夫婦、ご家族の場合、お2人様28,000円 残席がある場合は1回3,000円

in 大阪

「福岡に邪馬台国を探る」シリーズ

定員	80名
会場	レンタルスペース シーズ OSAKA 大阪市中央区南本町3-4-8 サザンビル4階
料金	5,000円(シリーズチケット/全3回) ご夫婦、ご家族の場合、お2人様9,500円

「神話・仏像」

定員	30名
会場	代官山ヒルサイドテラス アネックス A棟 東京都渋谷区猿樂町29-18 ヒルサイドテラス
料金	2,000円(1回毎)

「筑紫君磐井から見る継体天皇の時代」

定員	80名
会場	レンタルスペース シーズ OSAKA 大阪市中央区南本町3-4-8 サザンビル4階
料金	1,500円(1回)

●「学ぶ」の各会場へのアクセス
●「楽しむ」の詳細
かたらんねHPでご確認ください

「学ぶ」後援

福岡県教育委員会 / (公財)九州国立博物館振興財団 / (一社)九州観光推進機構 / (公社)福岡県観光連盟

お申し込み方法

【ホームページ】 <http://kataranne.com> より

【ハガキ・FAX】「開催地」と「シリーズ名」を明記の上、お名前・ふりがな・郵便番号・住所・昼間に連絡のとれる電話・FAX番号を下記主催者の福岡住所まで。お支払いなどの詳細をお知らせします。

お電話ではお受けできません。ご了承ください。

- * お申込み先着順でお受けし、定員になり次第締め切ります。
- * 受付け後、チケットとお支払い方法等をお送りします
- * 各回ごとのお申込みは4/1以降、残席がある場合にお受けします。残席状況はかたらんねホームページでご確認ください。

主催：有限会社 かたらんね <http://kataranne.com>

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 SRPセンタービル310

TEL 092-823-1689 FAX 092-823-1708

(東京事務所) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-38-13-202

文化財で楽しむ九州アジア倶楽部 2015年度 【監修:西谷正氏 主催:かたらんね】

「学ぶ-manabu-」			「楽しむ-tanoshimu-」		
in 東京		in 九州	西谷正氏	九州学シリーズ	
魏志倭人伝 -邪馬台国への道- (西谷正先生)	九州学シリーズ	九州学シリーズ		高島忠平氏	
第2土曜 14:00~16:30		第1土曜(2回連続講座) 14:00~16:00	3/17(火)~20(金) (4日間) 慶州の新羅文化	2/25(水)~27(金) (3日間) 国東の鬼会と石仏と宇佐神宮 (高橋徹氏)	日帰り企画
4月	5(日)★第1日 ①邪馬台国登場 -魏志倭人伝の世界-		4/14(火)~16(木) (3日間) 日本海シリーズ③ 「古代の若狭・越前」		高島先生とめぐる 九州に邪馬台国を探る シリーズ (全10回) 1. 吉野ヶ里 (4/17) 2. 朝倉 (5/15) 3. 八女・みやま(6/19) 4. 山鹿 (8/28)★第4金 5. 宇佐 (9/18) 6. 日田 (10/16) 7. 奴国 (11/27)★第4金 8. 末盧国・伊都国(12/18) 9. 不弥国 (1/15) (糟屋・飯塚) 10. ムナカタ国 (2/19) * 毎月、第3金曜日 (8月、11月は変則) * 7月、3月は休講 * 福岡市内発着、9~18時位
5月		5/16(土)★第3土 古代山城 (赤司善彦氏)			
6月	13(土) ②魏の洛陽城と帯方郡		6/5(金)~11(木) (7日間) 魏志倭人伝①「洛陽~山東半島」		
7月		7/11(土) 装飾古墳王国・九州 (石山勲氏)			
8月	8(土) ③韓国と狗邪韓国		8/21(金)~27(木) (7日間) 桓仁・集安の高句麗文化		
9月		9/12(土) 建国神話と巨大古墳の古代日向 (北郷泰道氏)			
10月	10(土) ④対馬国			10/3(土)4(日)、または4(日)5(月) 古代山城をめぐる (2日間) (赤司善彦氏)	
11月		11/14(土) 宗像・沖ノ島と関連遺産群 (磯村幸男氏)	11/17(火)~20(金) (4日間) 日本海シリーズ④ 「古代の加賀・能登・越中」	11/8(日)~10(火) (3日間) 古代日向をめぐる (北郷泰道氏)	
12月	12(土) ⑤一支国			九州の装飾古墳(3日間)(予定) (石山勲氏)	
1月		1/16(土)★第3土 筑紫君磐井 (大塚恵治氏)			
2月	13(土) ⑥末盧国				
3月		3/12(土) 九州の信仰と造形 (井形進氏)	3/15(火)~19(土) (5日間) 魏志倭人伝②「帯方郡~狗邪韓国」		

古代山城
(赤司善彦氏)
4/4、5/2

【特別編】
5/6(水祝) (西谷正氏)
桓仁・集安の高句麗文化と九州

筑紫君磐井と九州
装飾から(石山勲氏)
文献から(酒井芳司氏)
6/20(★第3土)、7/4

建国神話と巨大古墳の
古代日向
(北郷泰道氏)
8/2(★第1日)、9/5

惑星から見た古代九州
(鹿島薫氏)
10/3、11/7

九州の信仰と造形
(井形進氏)
12/5、1/9(★第2土)

筑紫君磐井
-岩戸山の現場から-
(大塚恵治氏)
1/30(★1月第5土)、
2/20(★2月第3土)



赤司善彦 (あかしよしこ) 氏

1957年生まれ。明治大学卒業。1984年より福岡県教育庁・九州歴史資料館、2005年より九州国立博物館展示課長を経て、2014年より福岡県教育庁総務部文化財保護課長。古代山城や対外交渉の考古学が専門。各地の古代山城および朝鮮式山城を研究、「古代山城サミット」では初回よりサミットの顔として欠かさず登壇している。



井形進 (いがたすすむ) 氏

1971年、福岡県北九州市生まれ。九州大学文学部(美学美術史専攻)卒業後、九州歴史資料館学芸員となる。専門は仏教美術史。九州の仏像を主たる研究対象としているが、2013年に国指定史跡となった首羅山遺跡の調査にも深くかかわり、謎の石塔である薩摩塔の研究においても新境地を拓いている。



石山勲 (いしやまいさお) 氏

1945年、新潟県生まれ。早稲田大学大学院(芸術学)修了。九州歴史資料館にて2005年まで調査・研究に従事。特に、装飾古墳の調査研究では幅広く活躍。装飾古墳の独特の魅力と、そこから垣間見える「ヒト」の面白さを伝える活動を行なっている。現在、海の道むなかた館に勤務。特に子供たちの体験事業に心を砕く。



磯村幸男 (いそむらゆきお) 氏

1948年、愛知県生まれ。1972年北海道大学文学部史学科卒業、福岡県教育庁文化課技術職員(歴史)。1997年文化庁文化財調査官。2002年文化庁主任文化財調査官。2006年福岡県教育庁文化財保護課長。現在、福岡県世界遺産登録推進室参与。宗像・沖ノ島の世界遺産登録へ向けた研究・活動に邁進している。



大塚恵治 (おおつかけいじ) 氏

1968年、広島県広島市生まれ。福岡大学法学部卒業後、八女市教育委員会にて文化財調査・保護業務に従事。鶴見山古墳の武装石人を発掘した当人であり、岩戸山古墳、八女古墳群のスペシャリストである。国指定無形民俗文化財「八女福岡の燈籠人形」で下遣い人形を操る人形遣いの顔もあわせ持つ。



鹿島薫 (かしまかおる) 氏

1956年生まれ。東京大学理学研究科博士課程修了。九州大学教養部助教授、同理学部助教授を経て、現在同理学部准教授。生命科学分野に進む友人達や官僚・金融マンとなった同級生を横目に、旅行ができる分野を迷いなく選ぶ。現在、年に6回以上海外フィールド調査。エジプト・中東・モンゴル・ウイグル等の環境問題調査のエキスパート。



酒井芳司 (さかいよしじ) 氏

1972年、千葉県生まれ。明治大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程中退。明治大学文学部助手、九州国立博物館主任研究員を経て、2014年より九州歴史資料館学芸員。専門は歴史学(日本古代史)。「日本書紀」等の文献史料や木簡を初めとする文字資料研究から古代大宰府と西海道の地域史の解明に取り組む。



高島忠平 (たかしまちゅうへい) 氏

1939年、福岡県飯塚市生まれ。熊本大学法文学部(東洋史専攻)卒業後、奈良国立文化財研究所を経て佐賀県教育委員会へ。吉野ヶ里遺跡の発掘、保存整備の頭陣指揮を採り、今も「ミスター吉野ヶ里」と呼ばれる。邪馬台国九州説派。現在、佐賀女子短大などを運営する旭学園理事長。



西谷正 (にしたにただし) 氏

1938年、大阪府生まれ。京都大学大学院修了。専門は東アジア考古学。奈良国立文化財研究所、福岡県教委、九州大学教授、韓国伝統文化大学外国人教授などを経て、現在、海の道むなかた館長・九州歴史資料館名誉館長・伊都国歴史博物館名誉館長・九州大学名誉教授。元日本考古学協会会長。文化庁や世界遺産関係の役職多数。



北郷泰道 (ほんこうひろみち) 氏

1953年、宮崎県都城市生まれ。立正大学文学部史学科(考古学専攻)卒業。宮崎県教育庁文化課、宮崎県立西都原考古博物館を経て、宮崎県埋蔵文化財センター所長を退職。現在、宮崎県教育庁文化財課専門主幹・南九州大学非常勤講師。南九州の古墳文化を「世界文化遺産」として評価する調査・研究、情報発信を行っている。

「学ぶ」「楽しむ」へのお誘い

新しい発見。深い感動。すばらしい先生方との贅沢な時間は生活をとても豊かにしてくれるでしょう。毎月開催のセミナー「学ぶ」。現地に足を運ぶ「楽しむ」。他ではできない体験を味わって下さい。ご参加をお待ちしております。

九州

JR博多シティ9F会議室3



会場は9階のレストラン街「くうてん」
「ティ・ジョイ(シネコン)」を抜けた正面
奥の会議室入口より。
<http://www.jrhakatacity.com/>

東京

東京国立近代美術館講堂



夏以降は、近隣で会場変更の予定
東京メトロ東西線「竹橋」駅(1b出口)
徒歩3分
<http://www.momat.go.jp/Honkan/map.html>



九州

年間 **15,000円**(「九州学」12回。特別編は含みません)
定員 **75名**
*ご夫婦、ご家族でご参加の場合は、お2人様28,000円
*残席がある場合は1回でもご参加いただけます 1回2,000円
*特別編「桓仁・集安の高句麗文化と九州」(西谷正氏)は別途広報します

東京

「魏志倭人伝シリーズ」 **15,000円**(全6回)
「九州学シリーズ」 **15,000円**(全6回)
定員 **各120名**
*上記シリーズ両方にご参加の場合は、お1人様27,000円
*ご夫婦、ご家族でご参加の場合は、お2人様28,000円
*残席がある場合は1回でもご参加いただけます 1回3,000円

お申込み方法

【HP】 <http://club.kataranne.com> より
【ハガキ・FAX】「九州」または「東京」、東京の場合は「シリーズ名」も明記の上、お名前・ふりがな・郵便番号・住所・昼間に連絡のとれる電話・FAXを下記主催者の福岡住所まで。お支払い等の詳細をお知らせします。

「学ぶ」後援 (公財)九州国立博物館振興財団、福岡県教育委員会、長崎県教育委員会、毎日新聞社(東京) 協力 考古調査士資格認定機構



「楽しむ」には、西谷正先生の韓国ツアー・中国ツアー・日本海シリーズツアー、高島忠平先生の邪馬台国シリーズ(日帰り現地ツアー×10回)、九州学の講師による現地ツアーなどがあります。HPをご覧くださいか、下記までお問合せ下さい。ツアーはそれぞれ主催旅行社が手配などお世話します。

文化財で楽しむ九州アジア倶楽部

2014年度

【監修:西谷正氏 主催:かたらんね】

「学ぶ-manabu-」 会場は下を参照		
日韓交流シリーズ		九州学シリーズ
in東京	in九州	原則 毎月第1土曜日
4月	14:00~16:00 7/12(土)のみ10:00~12:00	14:00~16:00
5月	「世界遺産を通して学ぶ 日韓交流」シリーズ (西谷正氏、全6回)	注目の大発見! 金象嵌大刀と船原古墳 上角智希氏、小林啓氏 5/24(土)、6/1(日)
6月		22(日) 装飾古墳は面白い! 石山勲氏 6/7(土)、7/5(土)
7月	12(土) 「高敞・和順・江華の支石墓群」と弥生文化の成立	
8月	2(土)「高句麗古墳群」と日本の装飾・壁画古墳 21(木)「宗像・沖ノ島と関連遺産群」と海の道	宗像三女神と「みあれ祭」 田中正日子氏 8/10(日)、9/6(土)
9月		
10月	4(土)「慶州歴史地域」と古代の日本 18(土)「開城歴史遺跡地区」と中世の日本	宇佐の八幡信仰と六郷満山 高橋徹氏 10/12(日)、11/1(土)
11月	8(土) 「朝鮮王朝の王墓群」と近世の日本	
12月		九州の古仏と古刹 井形進氏 12/6(土)、1/17(土)
1月		
2月		水中考古学の魅力に迫る ランドール・ササキ氏 2/14(土)、3/7(土)
3月	高句麗文化と九州(西谷正氏)	

「楽しむ-tanoshimu-」	
一日	宿泊 ★は韓国
	22(火)~24(木) 古代の丹後を訪ねて(西谷正氏)
『ツクシの 風土記を歩く』 高島忠平氏	
5/30(金) 「肥前国風土記」	「職人と伝統芸能」 随時お知らせします
9/26(金) 「豊後国風土記」	・戒壇院の 菩提樹と座禅
11/14(金) 「筑後国風土記」	・久留米餅・水車小屋 ・手漉き和紙・手作り桶 ・酒蔵・醤油蔵・塩田 ・筑前琵琶 ・幸若舞 など
	15(火)~18(金) ★古代韓国の国境地帯を歩く(西谷正氏)
	8/29(金)~9/1(月) ★ソウル城郭都市を歩く(水野宏氏・徐裕政氏)
	9/30(火)~10/2(木) 「みあれ祭」と宗像・沖ノ島(仮称)(西谷正氏)
	17(月)~20(木) ★韓国に高句麗の遺跡を訪ねて(西谷正氏)
	12月か1月 九州の装飾古墳(石山勲氏)
	国東の鬼会と石仏と宇佐神宮(高橋徹氏)
	16(月)~20(金)のいずれか4日間 ★慶州の新羅文化(西谷正氏)

会場=九州版は「JR博多シティ」、東京版は「パレスサイドビル」詳しくは裏面



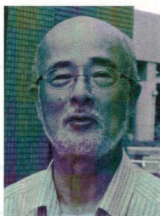
井形進 (いがたすすむ) 氏

1971年、福岡県北九州市に生まれる。九州大学文学部(美学美術史専攻)卒業後、九州歴史資料館学芸員となる。専門は仏教美術史。九州の仏像を主たる研究対象としているが、2013年に国指定史跡となった首羅山遺跡の調査にも深くかかわり、謎の石塔である薩摩塔の研究においても新境地を拓いている。



高橋徹 (たかはしとおる) 氏

1950年、大分市生まれ。九州大学大学院修了(考古学専攻)。大分県教育庁にて文化財調査・保護に従事。2011年大分県立歴史博物館館長を退職。2010年からは筑波大学川西宏幸氏主宰のエジプトアクリス遺跡の発掘調査に参加している。



石山勲 (いしやまいさお) 氏

1945年、新潟県生まれ。早稲田大学大学院(芸術学)修了。九州歴史資料館にて2005年まで調査・研究に従事。特に、装飾古墳の調査研究では幅広く活躍。装飾古墳の独特の魅力と、そこから垣間見える「ヒト」の面白さを伝える活動を行なっている。現在、海の道むなかた館に勤務。



田中正日子 (たなかまさひこ) 氏

元第一経済大学教授。専門は文献を中心とした日本古代史。福岡市史・鳥栖市誌・田主丸町史などの市史や、久留米市・鳥栖市・小郡市など各地の文化財保護審議委員会でも役職を務める。文献と考古をあわせて見ることを唱え、市民向けの講座でもそれを実践、人気が高い。



上角智希 (かみかどともき) 氏

1972年、佐賀県唐津市生まれ。九州大学大学院修了後、福岡市教育委員会入庁。現在、福岡市埋蔵文化財調査センターで主に金属器の保存処理を担当する。元岡遺跡の発掘で庚寅銘大刀の発見に遭遇し、中核メンバーとして修復・保存作業を進行中。写真は庚寅銘大刀の錆を削る作業。



西谷正 (にしにただし) 氏

1938年、大阪府生まれ。京都大学大学院修了。専門は東アジア考古学。奈良国立文化財研究所、福岡県教委、九州大学教授、韓国伝統文化大学外国人教授などを経て、現在、海の道むなかた館長・九州歴史資料館名誉館長・伊都国歴史博物館名誉館長・九州大学名誉教授。元日本考古学協会会長。文化庁や世界遺産関係の役職多数。



小林啓 (こばやしあきら) 氏

1977年、神奈川県生まれ。山形県埋蔵文化財センター・福島県文化振興事業団を経て、現在、九州歴史資料館勤務。九州は3年目。文化財の保存科学が専門で、船原古墳出土の古墳時代の馬具・武器の科学的調査に取り組む毎日。講座ではその最新情報を余すところなく語る。



水野宏 (みずのひろし) 氏

1957年、福岡県生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科(建築計画専修)修了後、内井昭蔵建築設計事務所入所。1991年、(株)水野宏建築事務所設立。現在に至る。九州産業大学・福岡教育大学・北九州市立大学非常勤講師、日本建築協会九州支部長。都市の変遷を追及し、NPOで市民向け歴史景観ガイドツアーを継続中。



高島忠平 (たかしまちゅうへい) 氏

1939年、福岡県飯塚市生まれ。熊本大学法文学部(東洋史専攻)卒業後、奈良国立文化財研究所を経て佐賀県教育委員会へ。吉野ヶ里遺跡の発掘、保存整備の陣頭指揮をとり、今も「ミスター吉野ヶ里」と呼ばれる。邪馬台国九州説派。現在、佐賀女子短大などを運営する旭学園理事長。



ランドール・ササキ氏

1976年、横浜生まれ。大学からアメリカで考古学を学ぶ。世界各地の遺跡の発掘調査に参加する中で、海事考古学に出会う。現在は福岡市の埋蔵文化財調査課に勤務する傍らアジアの沈没船の構造などを研究。インターネット、著作などを通して日本国内での海事(水中)考古学の紹介・普及活動を行っている。

「学ぶ」「楽しむ」へのお誘い

かたらんねセミナーとツアーは、回数も増え、全国各地からご参加頂くようになりました。そこで今年度からは、広域の皆様がより便利に集える場所に「学ぶ」の会場を定めました。東京でも「学ぶ」をスタートします。九州、東京とも、会場はアクセス抜群です。それに伴い、料金を下のように改訂させていただきます。お得な「年間パスポート」もご用意しましたので、ぜひご利用下さい。これからも楽しい企画を充実させてまいります。ご参加をお待ち申し上げております。



会場は9階のレストラン街「くうてん」「ティ・ジョイ(シネコン)」を抜けた正面奥の会議室入口より。
<http://www.jrhakatacity.com/>
<http://www.mai-b.co.jp/>

九州	1回 1,500円 (当日、受付でお支払い下さい) 年間パスポート 10,000円 (下記参照の上、事前にお申し込み下さい) *お好きな講座を12回まで。定員85名様。2014年5月~2015年3月有効 *座席を確保するものではありません。講座参加は申し込みが必要です *参加申し込みは原則各講座3ヶ月前からですが、パスポート会員は特典として年間すべての講座へ何時からでも参加申し込みができます
東京	1回 2,000円 (当日、受付でお支払い下さい) 6回通しチケット 10,500円 (下記参照の上、事前にお申し込み下さい) *6回分の参加申し込みとなり座席を確保します

「年間パスポート(九州)」、「6回通しチケット(東京)」の購入お申し込み
 【HP】 <http://www.kataranne.com/club> より。(詳細を掲載)
 【ハガキ・FAX】 「年間パスポート(九州)希望」または「6回通しチケット(東京)希望」と明記し、お名前・ふりがな・郵便番号・住所・昼間に連絡のとれる電話・FAX を下記事務局まで。詳細をお知らせします。

各講座の参加お申し込み
 【HP】 <http://www.kataranne.com/club> より
 【ハガキ・FAX】 「講座名と開催日」を明記し、お名前・ふりがな・郵便番号・住所・昼間に連絡のとれる電話・FAX を下記事務局まで。(参加受付の連絡は致しません。直接会場へお越し下さい。定員を超えた時だけご連絡します)

事務局 <http://www.kataranne.com>
 〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 SRPセンタービル310 (有)かたらんね
 TEL080-4282-0158(「アジア倶楽部」専用) FAX092-823-1708